小規模多機能ホームゆかい西野

運営推進会議　報告書

事 業 所 名：小規模多機能ホームゆかい西野

住　　　　所：札幌市西区西野6条9丁目1番12号

サービス種類：小規模多機能型居宅介護

日 　　　　 時： 令和６年5月２9日

場 　　　　 所： 小規模多機能ホームゆかい西野

委 　　　　員：

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用者代表 | 4人 | 知見を有する者・地域住民 | 1人 |
| 利用者家族 | 0人 | 包括支援センター職員 | 1人 |
| 地域住民の代表 | 1人 |  |  |
| 事業所職員  （職名：管理者、介護従業員、看護師等） | | | 4人 |

１.報告事項：

1. **利用者の状況**

登録者数及び男女比

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 2月 | 3月 | 4月 |
| 登録数 | 10名 | 11名 | 12名 |
| 男性：女性 | 1：9 | 1：10 | 1：11 |

地域

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 2月 | 3月 | 4月 |
| 西野 | 3名 | 3名 | 3名 |
| 平和 | 1名 | 1名 | 2名 |
| 西町 | 1名 | 1名 | 1名 |
| 八軒 | 2名 | 1名 | 1名 |
| 二十四軒 | 1名 | 3名 | 3名 |
| 手稲区西宮の沢 | 2名 | 2名 | 2名 |

要介護度

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 要支援１ | 要支援２ | 要介護１ | 要介護２ | 要介護３ | 要介護４ | 要介護５ | 変更申請中 |
| 2月 | 0 |  | 5 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| 3月 | 0 | 0 | 5 | 5 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 4月 | 0 | 0 | 5 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 |

**（2）環境作り**

|  |  |
| --- | --- |
|  | 毎日の生活にコーヒーの香り |
| 2月3日 | 節分 |
| 3月5日 | ひなまつり |
| 3月6日 | 利用者さんの誕生日 |
| 3月19日 | 春分の日 |
| 4月下旬 | さくら花見 |

**（3）利用者の生活、地域とのつながりをもつ取組**

・温泉外出

・ひな壇の見学

・はちみつ販売会

・近所のスーパーへの見学

・近くの児童デイサービスへの納品

・北海道神宮への外出

・発寒イオンへの外出

・近所での花見

・五天山公園

**（4）質を向上するための取組**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 2月13日 | 事業所研修 | 感染対策 | 半澤博恵氏 |
| 3月30日 | Web研修 | リハビリについて | 鳥田怜史氏 |

　利用者さんを絡めた研修を実施した。

　利用者さん参加型の研修。

**（5）事業所の地域参加**

|  |  |
| --- | --- |
| 2月4日 | 西区第一町内会　ボーリング大会 |
| 4月14日 | 西野第一町内会　第58回定期総会 |

**（6）事業所の取り組み**

　・外部からの見学者の受け入れ

　・外部講師を招き利用者さんも一緒に研修

　・他施設との交流

　・介護新聞への記事掲載

　・養蜂をやっている方との交流

　・西区在宅ケア連絡会への地域グループワークへの参加

　・地域の方の見学

　・近くの児童デイサービスへの商品づくり

　・テレビでリハビリ研修＆体操

　・ゆかいガチャの設置

２.意見・アドバイス

　・地域の目に留まる工夫として、「ゆかいガチャ」を設置した。

　　→どなたでもどうぞと記載あると、やり易いとアドバイスがある。

　・7/23　ケア友の会開催予定。男性介護者が参加されると良い。

　・外出しているのが良いと感じた。

　・一日の利用者さんの人数が多くなってくると大変だと思うが、このまま続けて欲しい。

　・運営推進会議を増えるごとに、利用者さんの笑顔が増えており、良いと感じた。

　・MSWが地域に入り、地域でどう過ごしているか、居心地よく過ごせているか、治療が終わって生活に戻り、継続的な支援がどうなっているか。ゆかい西野を見ていると、その後がわかるので、うれしい。

・ゆかい西野では、幅広く利用者さんを受け入れているので、その活動をもう少し、紹介する場があると良い。

・断らないを出し過ぎると、困難ケースが集まり、疲弊してしまう。周知の方法も気を付けて欲しい。

・困ったケースがあったら、地域包括に相談してください。

３.次回開催

次回開催は、来年度の7月を開催目途としたいと思っております。